

## 5月朝礼講話(こどもの日について)

令和5年5月1日(木)

さて、5月5日は「こどもの日」です。「こどもの日」は国民の祝日として法律で定められています。どう定められているかというと、「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する」とのことです。もちろんお父さんや家族にも感謝の気持ちをもちましょう。

さて、ここで問題です。「こどもの日」と言えば「こいのぼり」ですね。では「鯉のぼり」は、なぜ「メダカのぼり」でもなく、「まぐろのぼり」でもないのでしょうか。それは「鯉」というお魚は、「強い流れの川でもたくましく泳いでいくことができる魚」と言われていて、「こどもにたくましく元気に育って欲しい」という願いが込められているのですね。



こどもの日には「柏餅」を食べる習慣もあります。なぜ「きなこ餅」ではなく「柏」の葉っぱに包まれた「柏餅」を食べるのでしょうか。柏の葉は、「子孫繁栄」っていうのだけれど縁起がいいのだそうです。多くの木の葉っぱは寒い冬に枯れて落ちますが、柏は落ちないのです。春に新しい新芽が出るまで、その前の年の葉っぱが寒い冬でも落ちないで、新しい芽が出始めるとようやく役目を終えて前の年の葉が落ちるのだそうです。次の代のこどもがしっかりと育ち始めたのを見届けてから葉が落ちるので、命が代々引き継がれていく、という意味があるそうです。

こどもの日と言えば他にも、いろいろありますが、それらは悪いモノ「不幸」や「病気」などから身を守る意味があるのですね。また、調べてみてください。



世界では、5才の誕生日をむかえられずに、人生を終えてしまう子どもが年間560万人いるそうです。日本では医療が進んでいて、水もきれいだし、栄養も心配ないので、そういうことはあまりないようですが、世界では大人になる前に死んでしまうこどもがたくさんいることも事実です。

5月1日は、「自転車ヘルメットの日」でもあります。4月1日から自転車に乗るときはヘルメットをかぶるようになりましたが、自転車に乗車中の事故で命を落としてしまう原因の半分以上は、頭部のけがだそうです。自転車に乗るときには、忘れずにヘルメットをかぶりましょう。

さあ、皆さんの命、たくましく元気に育って欲しいと校長先生は願っています。心も身体も健康に育って行ってほしいです。学校の目標に「からだをきたえ やりぬく子」というのがあります。進んで運動し、体を動かして、たくましく、元気に育ってください。

5月6日は「立夏(りっか)」といって、暦の上では夏の始まりです。さわやかないい時期です。外でたくさん運動するのもいいですね。

(一部 付け加え)